

全大教新聞

2019年11月10日

第365号

【発行所】
全国大学高専教職員組合
(略称：全大教)



【PDF版(全面カラー)】
http://zendaikyo.or.jp/?page_id=107

【電話】03-6802-4250

【HP】<http://zendaikyo.or.jp/>

【所在地】〒110-0012
東京都台東区竜泉
2-20-15 都築ビル2階

* 組合員の購読料は
組合費に含まれて
います(一部30円)

今月の紙面

- 2 病院協議会 厚生労働省要請
医大懇や技術職員交流会議へ参加しよう!
- 2 各種調査結果の概要
- 2 論壇「大学におけるワークルール教育」
岩手大学人文社会科学部准教授 河合 壘
- 3 職場のQ&A(18) 不利益変更の「代償措置」
とは?

- 4 単組からのレポート
新潟大学
「大学生活における雑感」
名古屋大学
「名大職組〜これまでとこれから〜」
わたしもひとこと

2019年度 秋・冬季の取り組みに向けた(関東甲信越・中部近畿) 合同地区別単組代表者会議

北海道東北
10月19日～20日



各単組の情報交流の中で
新年俸制について、新規採
用者には適用を強制する事
例が複数報告され、同意を
得つつ新年俸制適用者を全

体の8割とする目標を掲げ
ている報告がありました。

ガバナンスに関しては、
学長のパワハラ、解任につ
いての情報が報道のみであ
り、組合の集会では事実と
手続きの透明性を求める声
が学生からも挙げられてい
ることが紹介されました。

学長選について意向投票
を行わない大学が増える中
で再任かつ対立候補者が無
いにもかかわらず意向投票
を実施した大学の地元紙記
事で判明した事も紹介され
ました。

また、北海道地区の法人
統合の動きではカリキュラ
ムのすり合わせ、サテライ
ト授業の準備など、実務的
な面で作業が進められてい
る事が報告されました。

裁量制の時間把握につ
いて多くの大学が実態把握に
努めていますが、健康管理が
目的であるのに規制当局の
判断基準が見えにくく、大
学の財政も関連する為に苦
慮している状況です。無期
転換の取り組みも継続した

課題である事が確認されま
した。

過半数代表者を組合員が
担っていて、規則改定の手
続き等を通じて職場の課題
を共有し広く問題意識を持
つてもうろ事が必要、安全
衛生委員会の審議事項を充
実させる組合の取り組みに
ついて発信し拡大につな
げられないか、などの声も
ありました。

組織財政見直しでは全大
教の必要性を確認し、中央
に求める役割や諸集会の在
り方について単組の議論、
意見を集約していく事とし
ました。

(書記次長 宮本 政明)

中四国九州
10月12日～13日



中四国・九州地区は地区
主催の教研集会など日常的
にとりくまれています。



13単組 22人が出席 「勤労者福祉センター」(岡山)

大学・高等教育、労働条
件、組織拡大・強化の各課
題についての中執報告、香
川大から裁量労働制教員の
労働時間把握に関する特別
報告が行われ、各課題につ
いて情報交換と取り組み交
流を行いました。

大学・高等教育の課題で
は、教員養成系大学は法人
支援課ではなく総合教育政
策局の教育人材政策課の配
下である問題、学長選問題、

60分4学期制の見直し、安
全保障技術推進制度の採択
問題、研究費の教員配分額
激減問題等の報告や交流を
行いました。

労働条件課題では、年俸
制が月給制にかかわらず業
績評価が求められている中
でマイナス評価を相対評価
にしないための留意点、不
合理な待遇差の禁止、特に
パート職員へのボーナス支給
裁量労働制の労働時間把握
状況、非常勤職員の雇止め
問題、年5日の年休取得に
関する問題、ハラスメント
問題等を交流しました。

組織拡大・強化課題では、
全大教の組織運営に関して
意見交換を行い、単組代表
者会議について、各単組が
活動するための情報収集の
機会なので2回を維持す
べき、全国一堂では参加者
が多くなるためメリットデ
メリット両面ある、定期大
会と同日で開催する場合
に出席者が確保できるのか
などの意見が出ました。ま
た、諸集会・会議の旅費に
ついて学会のように自費に
してはどうかとの意見も出
ました。単組の組織拡大と
の関連では、年俸制の組合
費をどう設定するか等も交
流しました。

(中央執行委員 佐々木 康俊)

憲法いのち社会保障まもる 10・17 国民集会

全国から2500人が集結!
2019年10月17日



会場「日比谷野外音楽堂」(東京)

10月17日、「憲法・いの
ち・社会保障を守る国民集
会」が日比谷野外音楽堂に
て開催されました。

10月12日、過去最強クラ
スの台風19号による大規模
災害が発生し、被害に遭わ
れた方々や、今もその対応
に尽力されている方々へ
向けた主催者のあいさつか
ら始まりました。被災され
た地域を含め、多くの都道
府県から医師や看護師、介
護職員が集まりました。参

加者は昨年に比べ減少して
いるものの、被害を受けた
都道府県からの参加もあ
り、総勢2500人が参加
しました。

本集会のスローガンは、
「国の責任で、いのちと、人
権が大切にされる社会保障
の拡充」を初めとした7つ
です。

集会には、日本医師会長
及び日本歯科医師会会長から
賛同のメッセージが寄せら
れ、またゲスト「室井佑月」
さんからの応援メッセージ
には、ご本人が現在、患者
として医療を受けている立
場としての意見と、医師や
看護師に支えられた体験が
語られ、参加者が勇気付け
られました。

また、国会議員あいさつ
では、現政権での社会保障
の問題や診療報酬の引き上
げと、患者医療費負担軽減、
医師・看護師・介護職員の
厳しい労働環境の改善を求
める内容で認識を一致しま
した。

集会後のパレードは、雨
が降る中でしたが、会場と
なった日比谷野外音楽堂を
出発し銀座まで、多くの各
都道府県や各々の組合の旗
を持ち最後まで歩き続けま
した。(病院協議会幹事

山城 美奈子)